

「楽典自習」 サポートの秘訣

～ 学ぶ人は「ココ」でつまずいている！～



生徒さんに音楽的な演奏をしてほしい、とは誰しも思うこと。それには楽典の知識が不可欠です。でも、「レッスンではちゃんと弾けるようにするだけでも大変。楽典はあとでもいいか～」となりがちでは？ 一方で教わる側は、「ゾクチョウ？ ええとなんだっけ？」と固まったり、自力で必死に本を読んだのに身に付かなかったり。分析的な解釈や和声感ある演奏という理想とのギャップが現実ではないでしょうか。

そのギャップ、埋めましょう！ 学習したり問題を解いたりする上でつまずきそうなポイントとは、どう手助けすると良いのか、具体的な例を使ってご紹介します。

菅原真理子

(すがわら まりこ)

東京芸術大学音楽学部作曲科卒同大学院作曲専攻修了。

- 創作: 教材 CD や DVD の作・編曲、「古事記」や「万葉集」に基づく歌曲群の作曲、「大草原の小さな家」などのシリーズに基づく作・編曲および演奏など
- 執筆: 「音楽大学・高校入試問題集」の楽典解説、楽典教材「音大入試の『楽典』」解き方のコツ&過去問トレーニング」および「音大入試の『楽典』テキスト」(以上いずれも音楽之友社)、ソルフェージュ教材「きれいに歌いましょうソルフェージュ応用編」(ヤマハミュージックメディアコーポレーション)など
- 教育: 昭和音楽大学・短大講師を経て、現在、同附属音楽教室講師などレッスンの傍ら、教材の制作を研究継続中

<講座内容>

- **いいかげんな譜読みを封じるはじめの1歩** ～ 音高・音程・拍子とリズム
その音は本当に「B」か？/どちらが上でどちらが下？音高のトリック/
「8分の6拍子と4分の3拍子」8分音符の数は同じだけれど
- **切り口いっぱい 大混乱からの脱出** ～ 和音
種類・転回形・〇度の和音・コードネーム……分類多くて何が何やら
- **ちょっとした推理小説** ～ 複旋律以上の調判定
音符の大群のなかの怪しいあたり/
絞った場所から証拠を拾う/
心で歌ってホシを挙げる …… など



● 日 時

● テキスト

● 会 場

『音大入試の「楽典」 テキスト』
『音大入試の「楽典」 解き方のコツ&過去問トレーニング』
(音楽之友社)

● 受講料 (税込)

● お問い合わせ・お申込み先

キリトリ線

菅原真理子公開講座

行 FAX.

申込日 月 日

年 月 日()

「楽典自習」
サポートの秘訣

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種 別	会 員	・	一 般

※〇印をおつけください。ご記入頂いたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。